

公共施設マネジメント推進計画における延べ床面積縮減に向けたシミュレーションについて

1 目的及びこれまでの経緯

公共施設マネジメント推進計画（以下、「推進計画」という。）では2062年までに延べ床面積20%縮減という目標を掲げている。令和4年度の推進計画の改定に向けて、施設の目標耐用年数や財政の平準化の観点のほか人口推計（補足版）等を考慮し、各期別及び2062年の縮減目標実現に向けたシミュレーションをあらためて行う。

延べ床面積20%縮減という目標を達成するためには、市の公共施設の6割以上を占める学校の統合・配置についての検討が必須であり、平成30年度には「市制施行100周年に向けた学校の統合・配置の考え方」（以下、「100周年に向けた考え方」という。）を作成、公表している。今後、「100周年に向けた考え方」をベースに、延べ床面積20%縮減に向けた公共施設の適正配置に関するシミュレーションを行うものとする。

なお本シミュレーションにおいては推計児童数及び目標耐用年数（劣化診断基礎調査の結果により前後する可能性）等の変動要素があり、またその他公共施設を取り巻く状況の変化を反映するため、推進計画の見直しに合わせ概ね5年を目途にシミュレーションの再実施を行うものとする。

2 現在の検討状況

別紙、「資料3②から3⑤」のとおり

3 今後の検討手順（予定）

検討時期	検討事項
令和2年夏頃	<ul style="list-style-type: none"> ・「100周年に向けた考え方」で用いた推計児童数を最新のデータ（人口推計補足版）に入れ替える。 ・「100周年に向けた考え方」における統合時期のシミュレーションが、全市的な推計児童数であるところを、学区ごとの推計とする。 ・各学校の校舎及び体育館の目標耐用年数を一覧化する。
令和2年度末まで	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的要因や財政の平準化、既存の地域コミュニティの状況等を踏まえ、学校再配置に関するシミュレーションを行う ・学校再配置に関するシミュレーションに合わせ、学区の検討を行う。（小学校2校に対して中学校1校）
令和3年度上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメント推進計画に掲げる延べ床面積20%縮減を達成するため、学校周辺の地域対応施設の複合化も含めた公共施設適正配置のシミュレーションを行う。
令和3年度末まで	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメント推進計画（改定版）を策定、公表する。